

地震・津波の正しい知識を身に付ける				
01.	「グラツ」ときたら？	設定時間	15分	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生時の頭部保護の必要性を理解する。 「自助」の意識を身に付ける。 			
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート (P.79) 動画「地震の揺れ」(下記参照) 			
教材 参考資料	東京消防庁電子図書館ビデオライブラリー http://www.tfd.metro.tokyo.jp/elib/video/index.html			
学習活動		留意点		
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を確認する。 			
展開	<ul style="list-style-type: none"> 「地震の揺れ」の映像を視聴する。 地震の映像を見て、揺れたときの状態を想像し、ワークシートに記入する。 〈発問〉 「地震が起きたら、まず何をしなければならないかな？」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 頭を守る。 丈夫なテーブルや机などの下に隠れる。 </div> 〈発問〉 「揺れが収まったら、何をしなければならないかな？」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 火の元の始末をする。 電気のブレーカーを切る。 脱出経路を確保する </div> 〈発問〉 「もし、自宅以外にいた時に地震が起きたら、どうする？」		動画「地震の揺れ」 <ul style="list-style-type: none"> 実際にやってみるのもよい。 揺れている時と、揺れが収まったときの条件の違いを考えさせる。 発展的内容であるので、じっくり思考させる。 	
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習から、「自分の命を自分で守る」ことの意味を考え、まとめる。 		
	学習指導要領との 関連	生活科, 特別活動		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
02.	より安全な部屋にしよう	設定時間	30分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家や部屋に潜む危険性を認識する。 身近なところにある危険から身を守る方法を考える。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート (P.80) 写真「地震後の家の中」(下記参照) 		
教材 参考資料	高知県教育委員会「南海地震に備えちよき」教材 DVD 平成 24 年 3 月		
	学習活動	留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を確認する。 「地震の揺れ」について説明を聞き、地震後、家の中がどのようなかイメージする。 <p>〈フォトランゲージ〉 「地震後の家の中」の写真と、自分が考えた「地震後の家の中」のイメージと比較する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習のことがらをもとに、イメージをふくらませる。 イメージとの差が「気付き」になるようにすすめる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家(または部屋)の様子をかく。 <p>〈発問〉 「自分の家の部屋から一部屋選んで、部屋その様子を絵にかいてみましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震が起きたとき、危険になる物を出し合い、全体で共有する。 <p>〈発問〉 「地震が起きたら、家の中のどんな物が危険になるかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の絵から危険な箇所を探し、印をつける。 <p>〈発問〉 「安全な部屋にするためにはどうしたらいいかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な家(部屋)になるよう、改善方法を考え、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家具やドア、窓の配置状況がだいたいわかる図になるように指導する。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 考えた改善方法を発表する。 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をもとに、家庭で「家の中にある危険」について話し合うように促す。 	
学習指導要領との 関連	生活科, 特別活動		

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
03.	津波の高さはどれくらい？	設定時間	15分
学習目標	・津波の特徴を知るとともに、津波の高さを感覚的に理解する。		
準備物	・ワークシート (P.81) ・動画「津波来襲のようす」(下記参照)		
教材 参考資料	高知県教育委員会「南海地震に備えちよき」教材 DVD 平成 24 年3月		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・「つなみまん」の絵から、津波のイメージを出し合う。 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「津波来襲のようす」を映像で視聴する。 ・映像を視聴して気付いたことを発表する。 <p>〈発問〉 「映像を見てどう思った？」 「津波って、どんなものかわかったかな？」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地震が起こったときに起きる。 ・遠く離れたところで起きた地震でも起きる。 ・何度も繰り返し襲ってくる。 ・収まるまでに長い時間かかる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・津波の高さを予想する。 <p>〈発問〉 「じゃあ、その津波の高さってどれくらいだと思う？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な地震における津波の高さを知る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和南海地震 ・チリ地震 ・北海道南西沖地震 ・収まるまでに長い時間かかる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・津波の高さを感覚的に理解する。 <p>〈発問〉 「校舎でいうと何階ぐらいまでだろう」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>3m…2階 6m…3階 9m…4階</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・率直な感想をもとにすすめる。 ・「普通の波と津波のちがいを」を述べさせてもよい。 ・まずは、数的知識として「メートル」で伝える。 ・実際に屋外に出て確認するのもよい。
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習でわかったことを発表する。 	
学習指導要領との 関連	算数(B 量と測定) 生活科, 特別活動		

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
04.	避難場所を知ろう	設定時間	15分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの津波到達時間や津波予測浸水深などを知る。 ・津波から早く避難する意識を身に付ける。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (P.82) ・高知市標高マップ ・マジック (丸シールでもよい) 		
教材 参考資料	「高知市標高マップ」高知市防災対策部地域防災推進課 http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/hyoukou-map.html		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・前時の学習を振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「津波の高さ」の学習を振り返り、津波の高さのイメージを持たせる。 ・地図の読み取りが難しい場合は、その場所の写真を用意し、提示する。 ・発展的内容であるので、じっくり思考させる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にいる時に地震が発生したことを想定して、「30分後、20mの津波」から安全に避難するための条件を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎の何階に相当するか。 ・学校を中心に、「徒歩30分」の圏内はどれくらいか。 </div> <p>〈発問〉 「校区の地図から条件に合った場所を見つけよう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「校区の高台」に印をつける ・「津波避難ビル」を確認する </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学校にいる時、家にいる時、よく出かける場所にいる時など、様々な想定に立ち、条件に合った避難場所を確認する。 <p>〈発問〉 「登下校で使う道路や、自宅近くに避難できる場所はあるかな？」</p>		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域をよく知ることが大切であること。(地理的特徴、被害想定、津波避難ビルなど) ・大きな地震があった時には、とにかく近くの避難場所へ避難すること。 ・「遠く」より「高く」避難することが大切であること。 ・避難場所について、家族と話をしておく必要があること。 </div>		
学習指導要領との 関連	生活科, 特別活動		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
05.	避難場所に行ってみよう	設定時間	90分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所への経路を知ること、防災への関心を高める。 地域の地理を理解するとともに、避難場所や避難に要する時間等を知る。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート (P.83) 前時の学習で用いた「高知市標高マップ」 		
教材 参考資料	「高知市標高マップ」高知市防災対策部地域防災推進課 http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/hyoukou-map.html		
	学習活動	留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を確認する。 これまでの学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 地震が起きたら、まず身体保護（特に頭部保護）。 揺れが収まったら避難。 避難時の安全には注意。 避難の時の約束「お・は・し・も」。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 実際に避難経路を確認しながら、避難場所に行くことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全等、避難行動そのものの安全について特に細心の注意を払う。 避難訓練ではないが、訓練同様に取り組むよう注意喚起する。 参考までに時間計測をするとよい。 避難経路上で想定される、地震・津波被害についての情報を、適宜立ち止まって説明する。 交通安全等、細心の注意を払うこと。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> 昇降口前に整列、点呼のうえ出発。 立ち止まりながら、避難経路についての注意点について説明を聞き、地図で確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 津波到達時間、津波高、浸水予測 コンクリート壁、水路、橋梁など、構造物の状況 道路幅、舗装、勾配などの状況 倒木、落石、出水などの危険性 </div> <ul style="list-style-type: none"> 避難場所で整列、点呼し、実際の避難方法についての説明を聞く。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> けが人や他の避難者（高齢者、幼児）への支援について。 混乱の中での避難となること。 避難時間のこと。 </div>		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 帰校し、本時の振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 危険箇所等について振り返り、安全で迅速な避難をするために大切なことについて考える。 学校以外の場所からの避難について考える。 </div>		
学習指導要領との 関連	生活科、特別活動		

自助・共助の態度を身に付ける

06.	避難の時に大切なこと	設定時間	15分
------------	-------------------	------	------------

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の命は自分で守る」という意識が持てるようになる。 ・日頃から安全な避難経路を確認することの大切さを理解する。
準備物	・前時の学習で用いた「高知市標高マップ」
教材 参考資料	「高知市標高マップ」高知市防災対策部地域防災推進課 http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/hyoukou-map.html

学習活動		留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難場所に行ってみよう」の学習を振りかえる。 ・学習目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標高マップで確認させる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・避難の時に大切なことについて考え、発表する。 〈発問〉 「避難する際に、どんなことに気を付けなければならないかな？」 ・避難の時に大切なことを一つひとつ確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・揺れている間の頭部保護 ・揺れが収まってからの避難行動 ・避難経路の確認と危険個所の把握 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の命を自分で守る」ことの意味について知る。 〈発問〉 「一人で家にいるときに、地震が起きたらどうする？」 「友達と遊んでいるときは？」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地震はいつ、どこで起きるかわからない。 ・その時、必ずしも誰かがいっしょとは限らない。 ・みんなが助かるためには、みんなで逃げるしかない。 (みんなで逃げれば、みんな助かる) ・だから、避難方法について、家族で話し合っておくことが大切。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のことがらなので、以前の学習を思い出せるよう、じっくり思考させる。 ・「もし、そうしなかったら」という視点で展開する。 ・「避難の判断は大人が下す」という概念が誤りであるということを、様々なケースを例にして説明する。 ・「津波でんでんこ」などの話をする。 ※「自分勝手に逃げる」という意味ではないことに留意してすすめる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 	

学習指導要領との 関連	生活科, 特別活動
----------------	-----------

自助・共助の態度を身に付ける

07.	こんなときに地震が起きたら ～危険予測トレーニング～	設定時間	45分
学習目標	・災害時、大人の指示に従うとともに自ら安全な行動がとれるようにする。		
準備物	・危険予測トレーニングのイラスト(P.84～86) ・高知市標高マップ		
教材 参考資料	「高知市標高マップ」高知市防災対策部地域防災推進課 http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/hyoukou-map.html		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・危険予測トレーニングのイラストを見て、何が危険で、どのような行動をすればよいかをグループで考える。 〈発問〉(イラストを示しながら) 「〇〇の時に、地震の揺れを感じました。どんな危険があるでしょうか」 ・グループとしての気付きを発表する。 ・予測した危険からの回避方法をグループで話し合う。 〈発問〉 「予測した危険から身を守る方法を考えよう」 ・グループで考えた危険から身を守る方法を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面の危険を予測させる。 ・5W1Hで説明させる。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波の危険からみんなの命を守るため、「クラスでの約束事」を考え、確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をもとに、家庭で「家での約束事」を決めておくように促す。 	
学習指導要領との 関連	生活科, 特別活動		